



東生駒病院 リハビリテーション科

理学療法のご紹介

理学療法とは、病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法です。
(日本理学療法士協会ホームページより抜粋)

理学療法士は、

日常生活の基本となる、起きる、座る、立つ、歩くなどの動作獲得のため、柔軟性や筋力をつける体づくりや動作の練習を患者さんと一緒にしていきます。

徒手的な運動、痛み緩和のための物理療法(ホットパック・電気治療など)、

必要に応じて機器類も使用してリハビリテーションを実施しています。

関節可動域練習・筋力増強練習・バランス練習



起き上がり練習・立ち上がり練習・歩行練習



床上練習・階段昇降練習・屋外歩行練習



患者一人ひとりと対話する姿勢で・・・

リハビリテーション医療は、根拠に基づく医療(EBM)だけで

十分ではなく、物語・対話に基づく医療(NBM)が重要です。

患者さん一人ひとりの過去・現在・未来を物語として対話しながら

徒手的介入によって機能回復と改善を達成する事に目標を置いています。



専門性の高い理学療法の提供に向けて・・・

当院では、回復期セラピストマネジャー(回復期リハビリテーション病棟協会認定)、

3学会合同呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士等

各資格・認定を有したスタッフが在籍しており、

院内での研修、症例検討、チームカンファレンスを通して、

患者さんへより質の高い理学療法を提供できるよう

日々研鑽しています。

